

飛行「30万回化」暴挙許すな

この上さらには1・5倍の騒音？！

国、県、NAA、小泉市長ら4者協議で合意

1月23日、成田市で行われた「4者協議会」（議長・堂本暁子知事）で、成田空港の飛行回数を「30万回（現在の1・5倍！）

えがたい騒音をさらにひどくするとは。

●北延伸はしないとの約束はどこへ

1月23日、成田市で行われた「4者協議会」（議長・堂本暁子知事）で、成田空港の飛行回数を「30万回（現在の1・5倍！）

えがたい騒音をさらにひどくするとは。

そのあげくに今度は、現行の飛行コースを東に15度ずらして騒音区域を拡大し、「30万回化に拡大する」との計画を発表しました。利権に群がる地元自治体も同意しました。

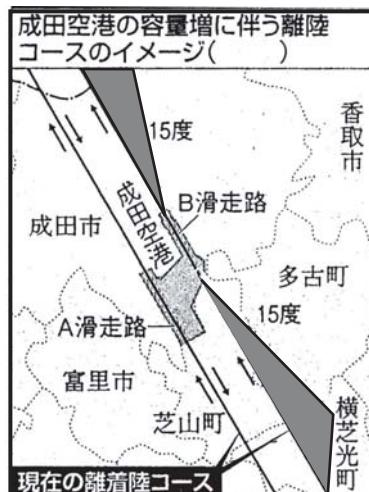
それを百も承知で「空港満杯論」のウソをふりまいています。

年、北に800m伸ばした暫定滑走路建設の時に「これ以上北には伸ばしません」と空港公団（当時）は約束しました。それをホゴにして2005年8月、北延伸計画を強引に決めたのです。

●航空需要は激減増便はまぼろし

30万回化でグレーの部分に騒音区域が拡大する

そもそも「成田の発着枠が満杯になる」などという話がデータラメです。日本航空も全日空も大赤字で、路線の廃止や減便が毎日をあげましょう。



北延伸滑走路の開業に反対しよう

ウラもご覧下さい

三里塚芝山連合空港反対同盟

(連絡先) 事務局長・北原鉱治 成田市三里塚115

3月29日の全国集会に来て下さい

農地法による 市東さんの農地 収用を許さない

用が強行されようとしています。空港予定地内に賃借地を持つ反対同盟員・市東孝雄さんへの農地取り上げ攻撃です。

「農地法による農地の収用」

――どうしてこんな考えられないことが起きているのか。空港

反対の43年の闘いによって、土地収用法が期限切れとなり、使えなくなつたからです。そのために、農地法の小

麻生首相は1月の第1条を否定し

28日の施政方針で、逆に「農地を効率的に利用する者に権利の取得を

300万農民の怒りで阻止を

にしました。農水省の改悪案では、「耕す者に権利あり」という農地法

促す」と、企業の参入と利用権の取得を大幅に認める内容になつていま

ん。



●成田市天神峰
反対同盟員所有地

●3月29日（日）正午

作契約解除の条項を悪用して、趣旨と正反対の目的に使おうとしているのです。「これは市東さんだけの問題じやない、小作権が守られなくては安心して農業をつづけられない」という全国の農民からの支援が始まっています。

市東さんの農地を守る声を大きく上げて行きたいと思います。3・29全国総決起集会に集まって下さい。

東峰十字路近くです